

6月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和5年6月1日(月)

午前9時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 宮下温子 委員 小松小百合
出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 伊藤尊夫
筑北中学校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明
次長 臼井太津男 主任 高野智弘

一 開会(臼井教育次長)

令和5年6月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教育長: 皆さんおはようございます。次週から議会が始まります。また今日資料を出します。それからいよいよ筑北村の教育委員会と一歩踏み出して、お互いに良いところを吸収しようという趣旨でやりたいと思っています。報告事項も含め特に今回用意はございません。以上です。

三 報告

1) 教育長報告

臼井次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教育長: 特に私からは、ございません。

臼井次長: 続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

高野CO: (以下、資料に沿って説明)。

臼井次長: 只今の子育て支援コーディネーター報告についてご意見等ございましたらお願いします。

臼井次長: それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

白井次長: それでは続いて小学校長報告に移ります。

伊藤校長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の小学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

小松委員: おみっこ通信にスウェーデンの踊りとありますが、詳しく教えてください。

伊藤校長: 関崎さんに楽器の説明を受けたり、演奏を聴いたりしました。また、「スウェーデンの白夜のお祭りで踊ります」と説明があり、みんなで手をつないで楽しく踊りました。実際に目や耳や体を動かすことで、異文化を感じることができて、良い体験ができたと思います。

白井校長: PTA の懇談会で、教育委員会の話を聞きたいとありますが、どのような内容でしたか。何を求めているのか具体的なところがわからないと、教育委員会に来てもらって説明をしても、的外れになってしまいます。何のために教育委員会を呼ぶのか PTA 会長とよく話し合っておいたほうが良いです。

高野委員: 今の PTA の状態のまま運営できますか。人数が少なくかつ同じメンバーでやらなければならない状態を改善しなければと思います。保小中一貫教育でやるのならば、PTA も同様にすることを提案します。

小松委員: 麻績の実情と具体的な方針を生の声で伝えることが必要です。同時に麻績スクールパートナーズが PTA の力となり、連携しながら進められるとよいと思います。

白井次長: 続きまして中学校長報告をお願いします。

白井校長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の中学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

小松委員: ゆるゆる運動塾についてももう少し詳しい説明をお願いします。

白井校長: 3時40分から始まります。外では、グラウンドを6～7周ぐらい走りまわりました。体育館の中では、卓球とバドミントンをしました。ウォーキングは近辺の道祖神巡りをしてきたようです。本当にゆるゆるで、服装はジャージでも何でもいいです。準備運動も各自でやります。「本当にゆるゆるなんだー」と生徒が、感想を言っていました。今後はもう少し広げていけばいいかと思っています。ここに地域の人々が来たり、この日には、子供たちにもグラウンドを開放するので来てくださいという展開をしたりできたらいいと思います。

小松委員: 小学校だと地域の人でも入りやすいのですが、中学となると少しハードルが高いと感じる方もあるかもしれません。何か工夫してもらえるとありが

たいです。

白井校長: チラシを入れたり、広報でお願いしたりすればいいですか。気軽に来てもらって、子供と交流したり、職員と交流したり、自分自身の健康づくりに役立ててもらえるようになれば良いと思っています。

白井次長: 以上で報告を終わりにします。協議事項に移ります。

四 協議事項

1) 筑北村教育委員との懇談会開催について

教育長: 協議事項に移ります。筑北村教育委員との懇談会について次長お願いします。

白井次長: 5月19日に筑北村の教育委員会との連絡会を実施しました。出席は両村の教育長と両村の教育次長の4人で情報共有という形で実施しました。その中で、教育施設の確認の依頼と、教育委員同士の懇談をお願いしてきました。この5月末の筑北村の定例教育委員会の中で、この議題について出していただき、全員の了承を得ました。期日につきましては、こちらからのお願いなので、筑北村の都合優先になります。よって、6月22日木曜日の午前11時頃になりました。場所は、筑北村図書館2階の会議室で実施いたします。よろしく願いいたします。以上です。

教育長: 只今の説明についていかがでしょうか。よろしいでしょうか。

2) 保育園・小中学校（児童クラブ）施設・運営確認の日程について

教育長: 事務局よりお願いします。

白井次長: 先日中学校を教育委員の皆さんに、状況を見ていただきました。各施設の運営確認について今後の日程を決めたいと思います。

教育長: 日程を決めたいと思います。事務局案はありますか。

白井次長: 早い時期に実施できればと考えております。

教育長: 小学校、中学校は6月で難しい日はありますか。

白井次長: 議会定例会が6月6日に開会となります。13日までの会議でございます。それ以降かと思えます。

白井校長: どのような対応をすればいいですか。

白井次長: 特に対応ということではなくて、実際に学校の中を見るのが一番かと思っています。特別なことを用意してもらう必要はありません。

教育長: 教頭先生に説明しながら案内していただければ大丈夫です。

白井校長: 1時間程度ですか。参観日以外なら大丈夫です。

教育長: それでは、15日の午前中で決定したと思います。詳細が決まりましたら、皆さんにご通知します。

3) 教職員の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて

白井次長: 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整についてということで、それぞれで取り交わしを行うこととなります。問題がなければ県に報告したいと思います。以上です。

教育長: それでは、このような形で県に報告したいと思います。

五 その他

1) 各委員から

教育長: 各委員さんからございますか。

宮下委員: 5月に小学校に消防署から立ち入り検査がありました。図書館で経路のところに物が置いてあったため、指摘がありました。すぐに対応しました。19年経過して、初めて立ち入り検査がありました。小学校と隣接していることから、もう少し配慮が必要だったと感じました。火災だけではなく、不審者対応なども含めて、様々な状況を想定しての防災訓練が必要だと感じました。

小松委員: 中野市の事件は、大変ショックでした。身近なところで起きた事件として、子供たちの不安とかにも配慮していかなければならないと感じました。

小山職務代理: 今日の市民タイムスの3面に、小平奈緒さんの講演会の記事がありました。子供たちの前に、今来ていただいて、自身の体験談を語ってもらうようなことができたらいいなと思いました。

教育長: ありがとうございます。

2) 事務局から

・麻績村議会 6月定例会における一般質問について

白井次長: 麻績村議会の6月定例会における一般質問事項を資料に入れさせていただきました。会期は、6月6日開会。6月8日一般質問。6月13日が最終日となり審議採決の予定となります。

一般質問事項ですが、清水議員から新型コロナウイルス感染症の対応について出されています。次に、保育園の運営について質問が出されています。園児の人権擁護すなわち、近年言われております不適切保育という部分に関して、外部による第三者評価の導入の検討はどうかということが趣旨になるかと思われまます。

それから、飯森議員から新型コロナウイルス感染症の介護施設、教育施設などでの基本的な感染症対策について質問が出されています。今継続して行っている対策について説明し、状況を報告したいと思っております。

基本的な感染対策は、今まで通り継続することになっております。

中学校の部活動についての質問になります。将来を見据えた地域移行にかかわる指導者の確保の進捗状況になります。先ほど中学校報告で「ゆるスポ」が出ましたが、こういった活動が課題解決の糸口になってくるのかという気がしております。

最後に、宮川議員から教育方針についての質問になります。施設一体型の小中一貫校の考え方について。少人数学級への対応と現況について。コミュニティースクールの現状と課題について質問がなされております。

6月定例につきましては、コロナ、保育園、中学校の部活動、全体的な教育方針について質問を受けているところでございます。

・ 保育園 ICT化（登園管理システム）の導入について

白井次長: 先般の報道にもありましたが、園児のバス内取り残し事故に端を發し、管理を厳重にする必要があるのではないかとということです。公立保育園のICT化について、コドモンという保育・教育施設向けの業務支援ツールがあります。今回の6月補正に、この関係経費を計上いたします。システム導入にかかわって、タブレットやシステム使用料それから光ケーブルの敷設費に約110万乗せませす。それに対して3/5補助金があります。保育園から申請します。上限が100万なので60万補助となり、40万の自己負担となります。

次に、信州大学医学部と地域連携に基づく講演会になります。主催が麻績村で所管が麻績村公民館となります。毎年信大との連携の講演会を実施しています。7月1日土曜日の13時から15時まで交流センター3階ホールで実施されます。講師は新たに信大医学部長になられました奥山先生になります。内容は身近な皮膚トラブルに関してです。公民館から広報麻績等で周知されますが、周知拡散をよろしく願います。

高地区より村へ日向神社を村指定文化財にできないかという要請がありました。29日に長野県立歴史館の特別館長の笹本先生も同席し、文化財保護委員会に集まっていただきました。日向神社には、古い薙鎌があります。諏訪神社との関連があるものです。会議の中で信大工学部の先生を紹介していただき、後日連絡を取りました。連絡を取ったところ調査協力の意向を示していただきました。薙鎌の調査と建物の調査を実施し、村の指定文化財にできるかどうか検討をしていきます。

それから情報提供になります。長野市の小学校で聖山高原学校といのが例年実施されています。聖山を登山した後、パノラマホテルに宿泊します。今年は、6月1日スタートして9月29日の期間になります。全部で32校が聖山を登山することになっています。福満寺の駐車場でバスを降り、

そこから歩いて坊平経由で登山をします。福満寺の駐車場利用については、教育員会において対応します。事務局から以上になります。

教 育 長: 何かございますか。

白井校長: 第2グラウンドの活用ですが、あそこへ行きたいと思う人は、少ないことは確かです。「自由に使ってください」といっても、あえて行くようにも感じられません。例えば、第2グラウンド周辺に、図書館があったり、交流施設があったり整備されれば、中学校あたりに行くような気がします。あそこの土地は、筑北村の考えもあるとするならば、筑北村の人も坂井の人も誰もが使える子供たちの遊び場になればよいと思いました。

教 育 長: ありがとうございます。第2グラウンドに関しては、基本的に教育施設という子供たちの育成のために使うものであれば可能ですが、住宅団地を立てるなど、全く違う目的のものはできません。子供たちのために何かをするものであれば、考えていく必要はあるかと思います。教育委員会としても、学校の校舎を今後どうするかを考えていかなければなりません。今後のビジョンを作っておかなければならないと思っています。

白井校長: 0歳児の保護者に交流センターのホールなどに来てもらって、座談会をやりながら将来のビジョンを伝えていくやり方が良いかと思います。教育委員会では、こんなことをやりますというようなことを示したうえで、みんな話し合える会が必要かと思います。

小山職務代理: 財源確保が課題です。グラウンドの活用も将来的には必要かと思いますが。

教 育 長: 今年度の一貫教育の目玉は、先生方の交流です。先生方の研修的な部分に一番力を入れて行きたいと思っています。職員間がうまく連携して、子供一人ひとりを見ていけるそんな環境が一番大事かと思っています。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 7月3日(木) 午前9:30～

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして6月の定例教育委員会を閉じます。